

各位

全3ページ
登録速報(2022-115)
2022年 3月23日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部 普及課

登録速報

下記の通り適用拡大登録となりましたので、ご連絡します。

適用拡大登録年月日：2022年3月23日

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号 第 20281 号

名称 プリンスリンバー箱粒剤 (住友化学(株)登録)

2. 変更の内容

農薬登録申請書第7項「適用病害虫の範囲及び使用方法」を以下のとおり変更する。

- ・作物名「稲 (箱育苗)」に使用量「高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5L) 1箱当り50～100g)」を追加する。

【変更後】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	フマトピルを含む農薬の総使用回数
<u>稲 (箱育苗)</u>	紋枯病 ウンカ類 イネトヨイムシ イネミスゾウムシ コブノメイガ ニカメイチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植3日前 ～当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する。	1回	2回以内 (移植時 までの 処理は 1回以内)
		<u>高密度に は種する場合は 1kg/10a (育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り 50～100g)</u>					

3. 当該変更に伴い、農薬登録申請書の記載事項に変更を生ずるときは、その旨及び内容

農薬登録申請書第8項「使用上の注意事項」に(3)として以下を追加し、現行(3)以降を順次繰り下げ、別紙のとおりとする。

【追加事項】

- (3) 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。

別紙

【変更後】

8. 使用上の注意事項

- (1) 使用量に合わせ秤量し、使い切ること。
- (2) 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植すること。
- (3) 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5L）1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。
- (4) 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意すること。
- (5) 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出したりしないように注意すること。
- (6) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上